

第 2 2 回議会報告会議事録（要約）

と き	令和 5 年 1 月 2 0 日（金）	1 9 時～ 2 1 時
と ころ	下滝野公民館 大ホール	
テ ー マ	議員定数・地域の課題・議会への要望等	
参加者数	1 4 人 （男 1 0 人 女 4 人）	
出席議員14名	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">・中村 龍治 <li style="width: 33%;">・大久保 忠義 <li style="width: 33%;">・橋本 匡史 <li style="width: 33%;">・松本 美和子 <li style="width: 33%;">・大城戸 聡子 <li style="width: 33%;">・別府 みどり <li style="width: 33%;">・廣畑 貞一 <li style="width: 33%;">・古跡 和夫 <li style="width: 33%;">・大畑 一千代 <li style="width: 33%;">・高瀬 俊介 <li style="width: 33%;">・岸本 眞知子 <li style="width: 33%;">・小川 忠市 <li style="width: 33%;">・小紫 泰良 <li style="width: 33%;">・藤尾 潔 	
総記録者	廣畑 貞一	



【概況】

今回は、議会議員の定数についてテーマを設けて話し合いを進めた結果、多くの貴重な意見が聞けた。

また、加東市民病院の経営状況についての意見や要望が多数聞かれた。

全体をとおして、今後、議員活動の理解が得られる方法を検討する必要がある。

発言種別	番号	回答（意見も含む）
【議会報告】		
意見	①	病院事業会計への一般会計からの補助金繰り出しについて、明らかに法定外であり認められない。自転車操業か。
回答	①	コロナの影響が大きく市民病院を守るためという市長の判断であり議会も賛成多数で可決した。
意見	②	バスターミナル整備事業の失敗の責任は誰がとるのか。
回答	②	市として失敗とは思っていない。
【Aグループ】		
提言	①	ハルクをもっと活性化させる努力をしなければならないのでは。うどん券、コーヒー券の無料券を配布とかすれば良いのでは。
回答	①	民間企業への補助は難しい。もっとアピールする方が良いと議員としても感じている。お店としては頑張っておられる。

質問 ②	福田地区のふくふくバス利用者数が伸びていない。デマンド型への移行も考えておられるのか。
回答 ②	現在のところ考えていない。
意見 ③	家の前までタクシーに迎えに来て欲しい。300mが歩けない。これからの高齢化社会ではやっていけない。
回答 ③	令和5年度にデマンドタクシーの実証実験を実施する予定である。
要望 ④	ハルクからイオンへ行く道にアーケードが必要では。雨のとき行きにくい。検討してほしい。
回答 ④	議員からも提案している。
意見 ⑤	ハルクは市が造ったのだから、もっとアピールするべきだ。
回答 ⑤	市はターゲットを絞り、SNSを活用した一歩踏み出したPRを行っている。
要望 ⑥	拡大鏡を購入したが、補助してもらえず困っている。
意見 ⑦	社市街地乗合タクシー（伝タク）に乗っている人が少ない。乗ってもらう努力をしているのか。
要望 ⑧	定年が65歳まで延長されると、運転ボランティアの確保が難しい。運転手の確保について、もっと若い人にアピールをしてほしい。
意見 ⑨	議員定数については、よその地域との比較ではなく、加東市の議員が一生懸命しているかどうか。増やす、減らすの前にどれだけ頑張っているのかが大事である。
意見 ⑩	議員定数は、もう少し少なくても良いのではないか。
【Bグループ】	
質問 ①	議員定数は、近隣市との差はあるのか。
回答 ①	人口割合では2,540人に1人で、他の北播の市よりも物凄く定数が多いとは言えない。ただし、三木市だけは4,705人に1人と、定数が少なくなっている。
意見 ②	議員提出議案がなく、何をしているのかわからないので、採決するだけなら減らした方が良い（3人から4人で良い）。
回答 ②	先程の議会報告の情報公開手数料有料化の300円のように、修正可決する事もあるが、議案に著しい不備が少なく、議案を修正する必要性が低い。議会報告のとおり、9月定例会の決算認定に際し、来年度予算で考慮すべき点、改善点を市長に意見書として提出している。
意見 ③	議員がどんどんと議案を出していくと行政が成り立たないため、市長の方針により当局が議案を提出して、審議採決する議会の両輪で回すべきだと思う。

提言 ④	若い方の議員の成り手不足が問題であり、議員報酬が少ないところに起因している。議員定数を減らすのならば議員報酬を上げるなど、人数と報酬の両方を考慮すべきと思う。
回答 ④	成り手不足は、どの市でも同じ。議員報酬は35万円であり、近隣や同人口規模の市とはほとんど同じくらいである。総合的に判断するようにする。
意見 ⑤	議員が何をしているのかわからない。
回答 ⑤	各常任委員会で課題について議論を行い、政策提言につなげていく。
意見 ⑥	議会は、行政と対峙するイメージがあるが、そのように見えない。
回答 ⑥	給食費無償化の議案について議論を重ねたところだが、良い悪いだけではなく財源を考えて話をしなければならない。
提言 ⑦	明るい夢を持たせる、夢を語る議会であって欲しい。次の世代のために何ができるのかを考えて欲しい。
回答 ⑦	5年、10年の基本構想を市長が立案して、進めているのが現状である。ご提言を承り、提案するように努力をしていく。
意見 ⑧	議会を見ていると、議員も市職員も紙を見ながら話していて台本やストーリーどおりに見える。
回答 ⑧	一般質問は、通告書であらかじめ質問内容を提出する。一般質問の時に理事者から提供の答弁要旨や資料を見ている姿が、そのように見えるのかと思う。
要望 ⑨	まちづくり協議会の活動では、校区単位で活動することになっているが、校区によって規模が大きく異なる。大きくなると活動しにくいので、柔軟にしてほしい。
回答 ⑨	規模が小さい校区と大きな校区を一律にするのは無理があると感じるので、関係部署に課題として報告する。
要望 ⑩	市民病院は、何が何でも市営で継続するのか。近隣の病院との関係性など、加東市民病院の在り方について幅広く対応できるようにあってほしい。
回答 ⑩	高砂市のような例もあり、どうあるべきか考えておくべきだと思う。市長の考え方にもよるが、これからも継続的に考えていく。
【Cグループ】	
意見 ①	議員定数は、議会報告会に参加者が少ないことなども課題として検討し、決めたらどうか（議会に関心が薄い）。
回答 ①	ご意見としてお聞きし、議員定数検討特別委員会で検討する。
意見 ②	市役所に言いにくいことをしっかりとってくれる議員もいてほしい。
回答 ②	ご意見としてお聞きしておく。

意見 ③	議会費は年間約1億円である。費用対効果が見えないし、市長提案に全てイエスマンばかりの議会であれば、議員数は0（ゼロ）でよい。
意見 ④	市民からして議員活動が見えにくく、議員に対してアプローチがしにくい。普段から、住民の声を聞き取るなど、平時から身近な存在となってほしい。
意見 ⑤	地域の実態を知ってほしい。まちかど体操や滝野地域の巡回販売活動を見学するなど、見識を深めてほしい。住民と議論する機会や議論の場を設けてほしい。
回答 ⑤	議会は、「市民との意見交換会」を積極的に進めており、活用していただきたい。
要望 ⑥	加東市民病院の「入院サポート窓口」について、ケアマネジャー等の関係機関との連携強化を図ってほしい。議会（所管する委員会）から指摘してほしい。
回答 ⑥	産業厚生常任委員会で調査研究する。
意見 ⑦	加東市民病院の民営化について、住民投票すべきだ。
回答 ⑦	ご意見としてお聞きしておく。
質問 ⑧	加東市民病院の職員の給与体系はどうなっているのか。
回答 ⑧	市職員と同様に条例で規定している。経営が厳しいからと言っても削減とかの対応はとっていない。
提言 ⑨	加東市民病院に関する理事者からの報告については、実態を調査すべきだ。
回答 ⑨	市民病院については、産業厚生常任委員会の3月の所管事務調査で現状を調査することになっている。
意見 ⑩	加東市民病院の「入院サポート窓口」の機能を強化するため、医療ソーシャルワーカー（MSW）を育成すべきだ。
回答 ⑩	ご意見としてお聞きしておく。
意見 ⑪	こども園で発熱した場合、即小児科を受診してもらうのではなく、加東市民病院の病児保育を充実して対応すべき。加東市民病院の病児保育の実態を調査すべき。
回答 ⑪	3月の産業厚生常任委員会の所管事務調査で現状を調査する。
意見 ⑫	障害者雇用について、公的機関（市役所）が率先して雇用し、民間事業者の見本となるようにしてほしい。
回答 ⑫	ご意見としてお聞きしておく。